

2026年度 シラバス(授業内容)

昼間部 2年
エアライン科 キャビンアテンダントコース
エアポートコース

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。
当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通科目と専門科目です。

全科目が必修科目となり、卒業にはすべての単位取得が必要です。

- (1)共通科目:人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
- (2)専門科目:各各コースの専門分野に即した科目構成です。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2026 年度昼間部 2 年 エアライン科 キャビンアテンダントコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	4	3	2	3	12
	専門科目	11	19	16	11	57
合計		15	22	18	14	69

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

2025年度入学生 エアライン科 キャビンアテンダントコース 履修科目・単位一覧(前期13週・後期13週)																		
	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期					
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数		
共通科目	キャリアデザイン I	演	1	26	キャリアデザイン II	演	1	26					ビジネスコミュニケーション II	演	1	26		
	ビジネスコミュニケーション I	演	1	26					デジタルスキル III	演	1	26	デジタルスキル IV	演	1	26		
	デジタルスキル I	演	1	26	デジタルスキル II	演	1	26	Let's Speak English III	演	1	26	Let's Speak English IV	演	1	26		
	Let's Speak English I	演	1	26	Let's Speak English II	演	1	26										
	小計				小計				小計				小計					
必修科目	TOEIC Advanced対策 I	講	2	52	TOEIC Advanced対策 II	講	2	52	TOEIC Advanced対策 III	講	2	52	TOEIC Advanced対策 IV	講	1	26		
	CA講座 I	講	1	26	CA講座 II	講	1	26	Airline English I	演	1	26	Airline English II	演	1	26		
	CA実技 I	演	1	26	CA実技 II	演	1	26	英語講座 I	演	1	26	英語講座 II	演	1	26		
	English Communication I	演	1	26	English Communication II	演	1	26	エアライン・サービス論 II	講	2	52	エアライン・ビジネス論 II	講	2	52		
	美しい日本語話し方講座 I	演	1	26	美しい日本語話し方講座 II	演	1	26	ワールドステイションズ III	講	1	26	電話応対	演	1	26		
	エアライン・サービス論	演	1	26	エアライン・ビジネス論	演	1	26	English Supplement	演	1	26						
	ワールドステイションズ I	講	1	26	ワールドステイションズ II	講	1	26	エクササイズ III	演	1	26						
	アマデウス I	演	1	26	アマデウス II	演	1	26	社会人準備講座	講	1	26						
	エクササイズ I	演	1	26	エクササイズ II	演	1	26	グループディスカッション	演	1	26						
	身だしなみ講座	演	1	26	エアライン受験対策	演	1	26	危険物取扱講座	講	1	26						
					ホスピタリティ	演	1	26	ワイン&カクテル入門	講	1	26						
					Airport Study	演	2	52	卒業制作	演	1	26						
					TOEIC Advanced集中講座	講	2	52										
					海外語学留学	演	3	78										
	必修選択								中国語 I / 韓国語 I	講	1	26	中国語 II / 韓国語 II	講	1	26		
									企業実習 / ボランティア		実	4	120					
	小計				小計				小計				小計					
計	1年前期 合計				1年後期 合計				2年前期 合計				2年後期 合計					
	1年 合計				2年間 総合計				2年 合計									
	15				37				17				14					
行事・研修	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期					
	オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 選考対策セミナー I・II 中村学園祭				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭					

2026年度昼間部2年 エアライン科 エアポートコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通科目	4	3	2	3	12
	専門科目	11	19	16	11	57
合計		15	22	18	14	69

各期全単位を取得すること。

必修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

2025年度入学生 エアライン科 エアポートコース 履修科目・単位一覧(前期13週・後期13週)																	
	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	科目名	区分	単位	時間数	
共通科目	キャリアデザインⅠ	演	1	26	キャリアデザインⅡ	演	1	26					ビジネスコミュニケーションⅡ	演	1	26	
	ビジネスコミュニケーションⅠ	演	1	26					デジタルスキルⅢ	演	1	26	デジタルスキルⅣ	演	1	26	
	デジタルスキルⅠ	演	1	26	デジタルスキルⅡ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅢ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅣ	演	1	26	
	Let's Speak EnglishⅠ	演	1	26	Let's Speak EnglishⅡ	演	1	26									
	小計				小計				小計				小計				
	4 104				3 78				2 52				3 78				
必修科目	TOEIC対策Ⅰ	講	2	52	TOEIC対策Ⅱ	講	2	52	TOEIC対策Ⅲ	講	2	52	TOEIC対策Ⅳ	講	1	26	
	English CommunicationⅠ	演	1	26	English CommunicationⅡ	演	1	26	Airline EnglishⅠ	演	1	26	Airline EnglishⅡ	演	1	26	
	美しい日本語話し方講座Ⅰ	演	1	26	美しい日本語話し方講座Ⅱ	演	1	26	手話講座Ⅰ	演	1	26	手話講座Ⅱ	演	1	26	
	エアライン・サービス論	演	1	26	エアライン・ビジネス論	演	1	26	エアライン・サービス論Ⅱ	講	2	52	エアライン・ビジネス論Ⅱ	講	2	52	
	ワールドステイネーションズⅠ	講	1	26	ワールドステイネーションズⅡ	講	1	26	ワールドステイネーションズⅢ	講	1	26	電話応対	演	1	26	
	アマデウスⅠ	演	1	26	アマデウスⅡ	演	1	26	English Supplement	演	1	26					
	エクササイズⅠ	演	1	26	エクササイズⅡ	演	1	26	エクササイズⅢ	演	1	26					
	身だしなみ講座	演	1	26	エアライン受験対策	演	1	26	社会人準備講座	講	1	26					
	カーゴハンドリング入門	講	1	26	カーゴハンドリング実務	講	1	26	グループディスカッション	演	1	26					
	エアポートハンドリング実務Ⅰ	演	1	26	エアポートハンドリング実務Ⅱ	演	1	26	危険物取扱講座	講	1	26					
					カウンター実技(演)	演	1	26	卒業制作	演	1	26					
					Airport Study	演	2	52									
					TOEIC集中講座	講	1	26									
					海外語留学	演	3	78									
	必修選択								中国語Ⅰ/韓国語Ⅰ	講	1	26	中国語Ⅱ/韓国語Ⅱ	講	1	26	
									企業実習/ボランティア				実	4	120		
	小計				小計				小計				小計				
	11 286				19 494				15 390				11 302				
計	1年前期 合計		15	390	1年後期 合計		22	572	2年前期 合計		17	442	2年後期 合計		14	380	
	1年 合計				2年 合計				2年間 総合計								
	37 962				31 822				68 1,784								
行事・研修	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	オリエンテーション スポーツ大会				就職ガイダンス 選考対策セミナーⅠ・Ⅱ 中村学園祭				オリエンテーション スポーツ大会				中村学園祭				

共通科目

25年度シラバス（授業計画）

科目名	デジタルスキルⅢ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	全学科			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	現代社会において、基本的なパソコン操作は必須スキルです 基礎的なPC操作を理解するとともに、Word Excelの基本操作を修得します				
到達目標	アプリケーションの起動やファイル操作をはじめ、Word Excelを使用した簡易的な文書作成ができることを目標とします。また、文書作成において重要なタッチタイピングスキルを“ホームポジションを意識して両手で文字が打てるレベル”まで伸ばしましょう				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・「30時間アカデミック情報リテラシー Office2016」(実教出版) ・USBメモリ 				
授業計画	1 power point 基礎,等	1 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	2 power point 基礎,等	2 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	3 power point 基礎,等	3 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	4 power point 基礎,等	4 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	5 power point 基礎,等	5 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	6 power point 基礎,等	6 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	7 power point 基礎,等	7 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	8 power point 基礎,等	8 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	9 power point 基礎,等	9 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	10 power point 基礎,等	10 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	11 power point 基礎,等	11 Excel・Word・power point 応用,復習等			
	12 テスト前予習	12 テスト前予習			
	13 テスト返却,確認	13 テスト返却,確認			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	Let's Speak English III・IV			科目区分	共通科目
対象	昼間部全学科全コース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	Anyone can speak English with foreigners with some effort. Simple key sentences and concepts are practiced through conversation, listening, and activities. Classes are divided by level, but all classes are taught in English only, with a native English speaker.				
到達目標	Communication in simple English about everyday topics. Students will be able to communicate with people from different countries and cultures.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	Speak Now Level 1 Student Book (Oxford)				
授業計画	1 Talking about a place		1 Talking about quantities		
	2 Asking for and giving suggestions		2 Talking about needs		
	3 Talking about locations		3 Talking about what you eat & healthy eating habits		
	4 Asking for & giving directions		4 Asking about & describing food		
	5 Review for test		5 Review for test		
	6 Speaking test 1		6 Speaking test 1		
	7 Asking about & giving prices		7 Talking about past events		
	8 Bargaining for a lower price		8 Asking about past events		
	9 Talking about frequency		9 Introducing news & reacting to news		
	10 Describing features		10 Talking about future plans		
	11 Review for test		11 Review for test		
	12 Speaking test 2		12 Speaking test 2		
	13 Review		13 Review		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	ビジネスコミュニケーションⅡ		科目区分	共通科目
対象	全学科 全コース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>	実務経験内容：		
授業概要	観光ビジネス業界にふさわしいマナーや必要知識を身に付けること。 ビジネスマナーを基にロールプレイを交えた内容で学ぶ。			
到達目標	新社会人として必要なビジネスマナーに関する知識を習得し、体現できること。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	秘書検定合格教本2・3級 新星出版社（1年次購入済み）			
授業計画	1 年金・税・保険の知識			
	2 組織（役職）と部門について			
	3 慶弔に関する知識とマナー			
	4 領収書の記入方法			
	5 その他ビジネス用語			
	6 アポイントから訪問・来訪マナー、名刺交換			
	7 上座・下座			
	8 企業訪問 実践ロールプレイ			
	9 電話の受け方と取り次ぎ方、メモの残し方			
	10 電話応対 実践ロールプレイ			
	11 上手な聞き方、話し方			
	12 命令・指示、忠告・注意の受け方			
	13 まとめと振り返り			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

キャビンアテンダントコース

専門科目

26年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC Advanced 対策 III・IV			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2年生 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：1単位	時間数	前期：52時間 後期：26時間
担当	講師名：印南 留美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容： ・日系大手航空会社・シンガポール航空にて客室乗務員として従事 ・シエル合同会社代表としてエアラインスクール Ciel Online Salon 主宰 ・都内私立大学 グローバルコミュニケーション学部 非常勤講師			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC の高スコア取得に必要な解き方のコツを知る。 ・苦手 Part の克服法を知りスコアアップへ導く。 ・TOEIC 本番を想定した模試を実施し解き方のタイムスケジュールを体感し本番に備える。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・日系客室乗務員の採用基準である公開 TOEIC L/R スコア 600 点以上を取得する。 ・TOEIC L/R スコア 600 点取得者は 700 以上のスコアを取得する。 				
検定資格	なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 任意 名称： TOEIC 公開テスト				
教科書 教材	<ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC L&R TEST 990 点攻略 文法・語彙問題 1000 著者：濱崎潤之輔 旺文社（講師用のみ） ・TOEIC L&R TEST 金のセンテンス ・適宜プリント配布 				
授業計画	1	TOEIC 模擬テスト。解答解説。	1	TOEIC 模擬テスト・解答解説	
	2	Part 1・2 の解き方のコツを知る。ミニテスト	2	Part 7 の解き方のコツを知る。ミニテスト	
	3	Part 1・2 の解き方のコツを知る。ミニテスト	3	Part 7 の解き方のコツを知る。ミニテスト	
	4	Part 3・4 の解き方のコツを知る。ミニテスト	4	筆記テスト：Part 7、金フレ	
	5	Part の解き方のコツを知る。ミニテスト	5	Part 5・6 対策・時間を意識したミニテスト	
	6	筆記テスト：Part1・2・3・4、金フレ	6	Part 7 対策・時間を意識したミニテスト	
	7	TOEIC 模擬テスト。解答解説。	7	TOEIC 模擬テスト・解答解説	
	8	Part 3・4 の解き方のコツを知る。ミニテスト	8	苦手 Part 克服。	
	9	Part 3・4 の解き方のコツを知る。ミニテスト	9	苦手 Part 克服	
	10	Part 5 の解き方のコツを知る。ミニテスト	10	苦手 Part ミニテスト	
	11	Part 6 の解き方のコツを知る。ミニテスト	11	筆記テスト：Part5・6・7 ミニテスト	
	12	筆記テスト：Part 5・6、金フレ	12	TOEIC 模擬テスト・解答解説	
	13	TOEIC 模擬テスト。解答解説。	13	苦手 Part 克服	
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	Airline English I・II			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	To develop students' English language skills for airline-related situations, and build confidence in communicating in English with native speakers.				
到達目標	Students will learn, memorize and practice relevant conversations for working in the airline industry.				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書 教材	Original text				
授業計画	1 Check-in conversation		1 Inflight instructions		
	2 Gathering and checking information		2 Inflight amenities		
	3 Checking baggage/numbers/ contents check		3 Inflight meal and drink service		
	4 Airport areas		4 Inflight shopping and currency		
	5 Seating/ preflight instructions		5 Directing passengers inflight		
	6 Itineraries		6 Inflight problems		
	7 Checking baggage		7 Recommending and explaining popular places		
	8 Security check conversation; Prohibited items		8 Explaining transportation		
	9 Security check conversation; Security checks		9 Explaining location		
	10 Duty free conversation and landing documents		10 Making recommendations		
	11 Duty free conversation; payment / inflight shop		11 Talking about Japan		
	12 Boarding gate English		12 Shopping and souvenirs		
	13 Announcements and instructions		13 Explaining Japanese etiquette		
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科・観光科・鉄道科		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：飯塚佳代・藤田敦子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容:手話講師・手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定6級5級4級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定5級			
教科書教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト3・4級（日本能率協会マネジメントセンター）			
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6級単語：あいさつ・自己紹介・反応・指文字	1 聴覚障害者と法律 5級単語：基本動詞②・文字総合復習・会話練習		
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6級単語：学校名・天候・疑問・指文字	2 ろう文化とは 5級単語：基本動詞③・文字総合復習・会話練習		
	3 手話とは③ 6級単語：数字・曜日・時制・指文字	3 耳の構造と補聴器 5級単語：形容詞①・文字総合復習・会話練習		
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6級単語：人・家族・指文字・会話練習	4 聴力レベルと障害者手帳 5級単語：形容詞②・5級模試		
	5 接客手話とは・接客用語の手話 6級単語：色・方角・指文字・会話練習	5 電話リレーサービス 4級単語：都道府県①・指文字総合復習・会話練習		
	6 世界の手話・国際手話・デフリンピック 6級単語：感情・動作・指文字・会話練習	6 音声認識アプリ 4級単語：都道府県②・指文字総合復習・会話練習		
	7 多様なコミュニケーション① 6級総合復習・6級模試（指文字なし）	7 盲ろう者とコミュニケーション方法 4級単語：都道府県③・指文字総合復習・会話練習		
	8 多様なコミュニケーション② 5級単語：疑問と時間・指文字・会話練習	8 マークいろいろ 4級単語：人間・指文字総合復習・会話練習		
	9 多様なコミュニケーション③ 5級単語：自然・指文字・会話練習	9 聴覚障害者トピック 4級単語：食べ物・指文字総合復習・会話練習		
	10 多様なコミュニケーション④ 5級単語：家族・趣味・指文字・会話練習	10 聴覚障害者トピック 4級単語：動物・指文字総合復習・会話練習		
	11 多様なコミュニケーション⑤ 5級単語：程度・文字総合復習・会話練習	11 聴覚障害者トピック 4級単語：生活・指文字総合復習・会話練習		
	12 試験説明と復習 5級単語：基本動詞①・6級模試（指文字部分）	12 ゲストを迎える準備・スポーツ・趣味・質問練習		
	13 6級模試返却と解説・文字総合復習・会話練習	13 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・サービス論Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ANAの客室乗務員としての実務経験あり		
授業概要	航空業界での安全管理体制について講義で学ぶ。 外部講師による講話等を通し、オペレーション業務が直面するリスクを学びマネジメントを理解する。			
到達目標	① 航空業界でのリスクマネジメントと危機管理の違いを理解する。 ② 航空業界における安全管理体制を学ぶ。 ③ 外部講師による実務経験に基づいた講義を受け、過去事例を題材に対策を考える。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	プリント配布			
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）			
	2 リスクマネジメントと危機管理について			
	3 航空業界における安全管理体制について①			
	4 航空業界における安全管理体制について②			
	5 ヒヤリハットについて			
	6 前半の振り返り			
	7 外部講師講話 客室乗務員			
	8 事故ミス/ヒヤリハット事例 客室乗務員			
	9 外部講師講話 グランドスタッフ			
	10 事故ミス/ヒヤリハット事例 グランドスタッフ			
	11 外部講師講話 グランドハンドリング			
	12 事故ミス/ヒヤリハット事例 グランドハンドリング			
	13 全体のまとめと後期に向けて			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数 前期：26時間
担当	講師名：担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。		
授業概要	日本からの渡航者が多い世界の国と地域の観光資源および、それに関わる地勢、国情勢、宗教、歴史などについて、基礎を学ぶ。授業内で、理解度を測るテストを実施する。 履修内容、順番は、変更される場合がある。			
到達目標	世界のエリア、主要な国や地域、都市を地図上で把握できる。 渡航先の基本情報が理解できる。 渡航先の魅力について理解および考察ができる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 任意	名称：
教科書 教材	海外観光プラクティカル（JTB 総研） ※1年次に購入済 旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） ※1年次に購入済 適宜プリント使用			
授業計画	1 東南アジア（タイ、シンガポール）			
	2 南アジア（インド、ネパール）			
	3 中東（トルコ）			
	4 欧州1（英国、フランス）			
	5 欧州2（イベリア半島の国々）			
	6 欧州3（ドイツ語圏の国々）			
	7 欧州4（イタリア、その他）			
	8 北米1（アメリカ合衆国）			
	9 北米2/ 中南米の国々			
	10 大洋州1（ハワイ）			
	11 大洋州2（オーストラリア、その他）			
	12 予備日			
	13 予備日			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、および出席率80%以上、および平常点 優。 B：評価試験60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良 C：評価試験40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可 D：評価試験40%未満、または出席率60%未満、または平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	English Supplement		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：Native Teacher			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>	実務経験内容：		
授業概要	These classes will supplement the students' other English classes. In the run-up to the TOEIC test, the students will be divided into two levels for TOEIC practice. After the June TOEIC test, the students will be taught different countries' pronunciation and culture, and will also practice explaining about Japanese culture.			
到達目標	Classes will be taught by native teachers, so the students' English communication skills will improve and their knowledge and awareness will increase. It will also boost their TOEIC scores, particularly in the listening section.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	2 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	3 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	4 TOEIC Practice / Cultural exchange			
	5 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	6 TOEIC Practice			
	7 TOEIC Practice			
	8 TOEIC Practice			
	9 TOEIC Practice			
	10 Listening and pronunciation			
	11 Listening and pronunciation			
	12 Listening and pronunciation			
	13 Listening and pronunciation			
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 A B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 B C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 C D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 D			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：上村海音			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：一般社団法人ダンス振興連盟JDAC 認定ダンス指導員		
授業概要	エクササイズを通して、安全で効果的なトレーニング方法を学び、全身の筋力、柔軟性、持久力を高め総合的な体力向上を目指す授業。			
到達目標	シアターゲーム等を通して身体を動かすことに親しみを持ち、運動意欲を高める。 自分自身の身体の特徴を理解し、それに合った適正なケア方法を身に着ける。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 柔軟性、筋力の計測			
	2 ウォーミングアップ、ストレッチ、クールダウンの習得			
	3 エクササイズトレーニング①			
	4 エクササイズトレーニング②			
	5 小テスト			
	6 エクササイズトレーニング③			
	7 エクササイズトレーニング④			
	8 エクササイズトレーニング⑤			
	9 小テスト			
	10 エクササイズトレーニング⑥			
	11 エクササイズトレーニング⑦			
	12 エクササイズトレーニング⑧			
	13 小テスト			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく ※平常点の評価には、授業参加態度も含まれます。			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人準備講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：石神 直人、宮崎 愛子 他			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり		
授業概要	グローバル化や日本社会の変化に伴う人々の意識や価値観の変化も関係している中で、本講座では、時事問題解説ではなく、様々な分野をについて教養を深める講座を目指します。内容は経済、地域社会などと多岐にわたりますが、いずれも今後の社会人生活や世界を視野に入れるうえで重要な視点となります。			
到達目標	卒業後の社会人生活における問題点などがあつた場合、自主的に解決もしくは相談できるような知識を持ち、より良いキャリアデザインを描けるようになってほしい。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし (適宜、プリントもしくはPDF データ等を用意します)			
授業計画	1 マネーリテラシー（社会人の収入と支出）			
	2 マネーリテラシー（社会保険）			
	3 マネーリテラシー（経済と金融 基礎①）			
	4 マネーリテラシー（経済と金融 基礎②）			
	5 アンガーマネジメント（基礎／自己理解）			
	6 アンガーマネジメント（他者理解／クレーム）			
	7 メンタルヘルス（ストレスと心と体）			
	8 メンタルヘルス（多角的に感情を整理する）			
	9 メンタルヘルス（三大幸福物質とコーピング）			
	10 社会人基礎①（新入社員について）			
	11 社会人基礎②（トラブル対応）			
	12 マネーリテラシー（経済と金融 基礎③）			
	13 社会人の休み・余暇の過ごし方			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	グループディスカッション		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：松本 多英美			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：エアライン業界にてグラウンドスタッフとして6年間の実務経験あり		
授業概要	決められたテーマにおいて、また限られた時間内に具体的なテーマを探し、目標に向かってディスカッションをし、まとめ、発表をする。この流れをグループで行うトレーニングです。多様な意見を尊重しつつ、建設的な議論を通じて結論を導き出すスキルを習得します。			
到達目標	様々なテーマのグループディスカッションを経験することで議論の仕方を学びます。チームで考え結果を導く能力が身につきます。テーマは専門分野の業界と社会性のあるテーマを設定することで、航空分野のみならず社会性も身に付きま			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	プリント配布			
授業計画	1 グループディスカッションの定義と目的、ルールと進め方			
	2 文章の分析と要約 （航空系企業関連記事）ペアワーク			
	3 実践演習：DVD① （ホスピタリティ）			
	4 実践演習：DVD① （ホスピタリティ）			
	5 実践演習：DVD② （仕事観・キャリア）			
	6 実践演習：DVD② （仕事観・キャリア）			
	7 実践演習③ （ニュース題材）			
	8 実践演習③ （ニュース題材）			
	9 実践演習④ （機内販売）			
	10 実践演習④ （機内販売）			
	11 実践演習⑤ （機内販売）			
	12 実践演習⑤ （機内販売）			
	13 まとめと振り返り			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	危険物取扱講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：逢坂 理恵			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出入業務や教育担当の実務経験あり。危険物インストラクターの社内資格や Diploma 資格を保有。		
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には危険物があり、様々な規則が定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の分類や危険性、ラベルを理解する ・旅客手荷物に含まれる危険物を理解する ・航空機の搭載規則を理解する ・航空安全に対する意識を醸成する ・危険物リストの見方、マーキング・ラベリングの規則を理解する 			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	1 身の周りの危険物、教育の目的、規則体系とその他の輸送形態			
	2 IATA 規則第1-2章 危険物輸送の流れと規則の責任範囲、認可と適用免除			
	3 IATA 第2章 隠れた危険物、微量・少量、IATA 第3章 分類(第1分類～3分類)			
	4 IATA 第3章 分類(第4分類～9分類)			
	5 IATA 第4章 危険物リストの見方			
	6 IATA 第5-6章 包装基準、容器の種類と輸送形状、国連規格容器			
	7 IATA 第7章 ラベル・マーキング			
	8 IATA 第8章 書類の作成(危険物申告書、AWB)			
	9 IATA 第9章 ハンドリング(受託・保管・搭載)			
	10 IATA 第9章 旅客手荷物、機長への通知			
	11 まとめ、応用問題			
	12 試験対策問題			
	13 試験返却、フィードバック			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	ワイン&カクテル入門			科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：松平 和宏				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ホテル業界にて料飲部門（宴会・バー）実務経験あり。			
授業概要	「空飛ぶソムリエ」としての役割と仕事を理解し、基礎的なワインやカクテルの知識を学ぶ				
到達目標	エアラインに必要な、ワインを含む酒類やカクテルに関する基礎的な知識の習得				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	※配布資料有 日本ソムリエ協会 教本、ホテル・バーメンズ協会 教本より抜粋				
授業計画	1 「空飛ぶソムリエ」の仕事と役割について				
	2 酒類総論 醸造酒と蒸留酒、混成酒の理解				
	3 ワイン概論 ワインのタイプと栽培、醸造				
	4 世界のワイン産地				
	5 ワインの管理とサービス方法、ワインと料理のペアリング				
	6 ワインテイस्टィングの目的とその方法				
	7 カクテルとは？ カクテルの道具と4技法、カクテルのTPO				
	8 カクテルの原料 リキュール・スピリッツについて				
	9 スタンダード・カクテルのレシピとレシピの考え方				
	10 モクテル（ノンアルコール・カクテル）創作 ネーミングとデコレーション				
	11 ビルドによるスタンダード・カクテルと創作モクテルの実技演習				
	12 ここまでの学習の復習				
	13 評価試験の解答および解説				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	卒業制作		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数 前期：26時間
担当	講師名：松本 多英美			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	実務経験内容：エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり		
授業概要	卒業までの1年間で、今まで学んできた多くのことを生かしながら自分の考えた内容を発表するために調査・研究を行い、レポートにまとめます。内容は各自で考えて行うため、自身の興味のあることや関心をもって主体的に行う授業となります。			
到達目標	社会人として卒業する前の心構え、対応を行い、自身の主張を論理立てて説明することが出来る。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）			
授業計画	1 卒業制作概要説明、テーマ決めの調査			
	2 テーマ決めの調査・決定			
	3 調査開始①			
	4 調査開始②			
	5 調査開始③			
	6 題材確認及び中間発表準備			
	7 中間発表①			
	8 中間発表②			
	9 追加調査及び追加研究①			
	10 追加調査及び追加研究②			
	11 追加調査及び追加研究③			
	12 最終発表①			
	13 最終発表②			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価課題及び授業理解度80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価課題及び授業理解度60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価課題及び授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価課題及び授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・ビジネス論II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ANAの客室乗務員としての実務経験あり		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・航空産業の企業活動を参考に社会人として企業の事業運営に貢献する重要性を学ぶ。 ・過去の事例を基に演習にて実際の対応方法を学ぶ。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通機関としての航空会社の社会的使命を理解する。 ② 過去事例で行われた対策を学び、対応策を考える力を身につける。 			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	プリント配布			
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）及び前期の振り返り			
	2 企業統治（コーポレートガバナンス）について			
	3 コンプライアンスについて			
	4 情報セキュリティ			
	5 事例/ヒヤリハット 具体事例共有			
	6 事例/ヒヤリハット1対策考案			
	7 事例/ヒヤリハット1対策考案			
	8 事例/ヒヤリハット1対策の発表 及び前半の振り返り			
	9 事例/ヒヤリハット2対策考案			
	10 事例/ヒヤリハット2対策考案			
	11 事例/ヒヤリハット2対策考案			
	12 事例/ヒヤリハット2対策の発表			
	13 全体の振り返り			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	電話応対		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：岸田輝美			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：電話応対・社内マナー講師実務経験。現在は研修会社取締役		
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、1年で学んだことを活かしながら実践ですぐに役に立つ、優れた電話応対術を学びます。			
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。発声・発音、電話の受け方・かけ方、定型的な言い回し、伝言メモの書き方等電話応対の基礎を固める。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：電話応対技能検定4級			
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック（ビューティフルマナー株式会社出版） 前向きな言葉の作り方実践ワークブック（一般社団法人日本ペップトーク普及協会）			
授業計画	1 前向きな言葉を意識する・状況を受け止め表現する			
	2 状況の捉え方を変え表現する・可能なことを提案する			
	3 相手との信頼関係を築く・自分の一言目を変える			
	4 【実践電話応対】 取次 台本作り			
	5 【実践電話応対】 取次 実技			
	6 【実践電話応対】 道案内 台本作り			
	7 【実践電話応対】 道案内 実技			
	8 【実践電話応対】 問い合わせに対応 台本作り			
	9 【実践電話応対】 問い合わせに対応 実技			
	10 【実践電話応対】 感謝をイメージする 台本作り			
	11 【実践電話応対】 感謝をイメージする 台本作り			
	12 【実践電話応対】 感謝をイメージする 実技			
	13 【実践電話応対】 感謝をイメージする 実技			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	企業実習/ボランティア		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期：4単位	時間数
担当	講師名：企業担当者/ボランティア団体 担当者			
	実務経験：(有)・無	各企業現場指導者より		
授業概要	<p>【企業実習】 航空業界企業に出向き、業務を実際の体験を通して理解する。精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。</p> <p>【ボランティア】 ボランティア活動を通じて、他者に尽くすことで得られる幸福感や喜びを実感し、心の豊かさを育む。 (感謝の気持ちの大切さ・共感と思いやりの醸成・自己肯定感の向上)</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践業務を学び、知識・技術の向上 ・他者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力とマナーの習得 ・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>〈企業実習〉 各企業の館内及び施設見学、航空業界全般並びに各企業ルールと共に接客時のマナーを学ぶ。</p> <p>【キャビンアテンダント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機内サービス/アナウンス ・接客マナー <p>【グランドスタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン業務 ・接客マナー <p>【グランドハンドリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーゴハンドリング業務 ・危険物取扱業務 			
	<p>〈ボランティア〉 学校に募集がかかったボランティア活動、若しくは千葉市のボランティアネットワークを活用し、自身が参加したいボランティア活動へ参加。</p> <p>【ボランティア内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 ・ビーチクリーン ・デイサービス ・文化活動 他 			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R：実習修了時間 120時間以上</p> <p>D：実習修了時間 120時間未満</p>			

2026年度シラバス（授業計画）

科目名	韓国語 I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科・鉄道科 選択		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名： 渡部 茂			
	実務経験： 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：		
授業概要	韓国語の会話のみならず、この言語を使用している民族の文化面的な背景も学ぶ。			
到達目標	一年間を通して日常の韓国語の場面話術や、各業界の専門的な業務会話の習得までを到達目標とする。			
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称： ハングル検定・韓国語能力検定			
教科書教材	「例文をなぞって覚える場面別会話集」 渡部 茂 著			
授業計画	1.韓国語とはとハングル創製の時代背景まで	1.基本的な会話（初対面の挨拶等）		
	2.文字と発音のルール（連音化・有声音化等）	2.日常会話（I THBで何を学んでいますか等）		
	3.音の変化（流音化・鼻音化・口蓋音化等）	3.旅行・観光（機内・列車内・バス内での案内等）		
	4.数詞 助数詞 漢数詞と固有数詞（1と一）	4.飲食時の会話（客と従業員の間の会話等）		
	5.指示代名詞と疑問詞	5.ホテル内での会話（予約と応対等）		
	6.助詞（一音節・二音節・三音節・四音節等）	6.交通と乗り物（I THBまで行って下さい等）		
	7.用言の活用（です・ます）	7.テーマパーク（入場客のご案内や引率等）		
	8.文中の連体形と連用形	8.ショッピング会話（日常や旅先の注文と応対等）		
	9.待遇表現（丁寧語・謙譲語・尊敬語等）	9.感情表現（日韓形容詞の相違の比較対照）		
	10.依存名詞の役割（こと・もの・はず・わけ等）	10.看病・介護・病気等の表現		
	11.日本語漢字音と韓国漢字音の対比	11.人生の一生の出来事表現		
	12.擬態語・擬声語（オノマトペ） 接頭辞・接尾辞	12.スマホ・パソコン等の電子機器等の表現		
	13.朝鮮半島文化的背景（親族の呼称・歴史年表）	13.芸能・音楽（前売り券・ファンミーティング等）		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A： 評価試験 80%以上、 出席率 80%以上、 平常点 優 B： 評価試験 70%以上、 出席率 70%以上、 平常点 良 C： 評価試験 60%以上、 出席率 60%以上、 平常点 可 D： 評価試験 60%未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科・鉄道科			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：張翼飛				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	前期は中国語の基本発音、文法及び中国文化を習得します、後期は基本会話の練習とエアライン、テーマパークおよび観光の現場に使う中国語を学び、即戦力となる人材を育成します。				
到達目標	基本的な中国語会話を身につけ、来日中国人のお客様に基本的な対応ができるようになる。				
検定資格	なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	1 中国語の母音と子音の練習。	1 形容詞述語文を学習。			
	2 中国の地図、近代歴史と民族の紹介。	2 文の組み立て方の練習。			
	3 中国語四声の練習。	3 テーマパーク入場、案内で使用する会話。			
	4 中国年間行事の紹介。	4 エアラインカウンター手続きで使用する会話。			
	5 出会いと別れ、お礼とお詫びの言葉の練習。	5 観光地のバス移動で使用する会話。			
	6 中国人恋愛観と結婚観の紹介。	6 テーマパーク土産店で使用する会話。			
	7 中国語数字の言い方。	7 空港の保安検査と出国審査で使用する会話。			
	8 中国四大料理と食事マナーの紹介。	8 観光地案内で使用する会話。			
	9 動詞述語文を学習。	9 テーマパーク内レストラン利用時の会話。			
	10 中国人に送ってはいけないものの紹介。	10 エアライン搭乗案内で使用する会話。			
	11 名詞述語文を学習。	11 観光地食事マナー、ゴミ回収で使用する会話。			
	12 中国映画鑑賞。	12 テーマパーク内ホテルで使用する中国語会話。			
	13 前期期末試験問題対策。	13 後期期末試験問題対策。			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験90%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C：評価試験50%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験50%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

エアポートコース

専門科目

26年度シラバス（授業計画）

科目名	TOEIC 対策Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年生 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：1単位	時間数 前期：52時間 後期：26時間
担当	講師名：日隈 敬子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ノースウエスト航空機内通訳、日本航空 LAX グランドスタッフ		
授業概要	TOEIC は英語能力だけではなく、時間の使い方や技術が必要になってきます。 このクラスでは1年生で固めた文法やリスニング力を TOEIC のテストで上手にかすために、時間を意識した実践的な練習を行います。 英語の語彙力向上と共に、TOEIC のスコアアップを目指しましょう。			
到達目標	1年次の最高スコア+100点			
検定資格	なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 任意 名称： TOEIC 公開テスト			
教科書 教材	TOEIC L&R テスト書き込みドリル「スコア 650 全パート標準編」新形式問題対応（桐原書店）			
授業計画	1	リスニング Part 1, 2 スクリプト音読	1	リーディング Part 5、文法
	2	リスニング Part 2, 3 スクリプト音読	2	リーディング Part 5、文法
	3	リスニング Part 3, 4 スクリプト音読	3	リーディング Part 7
	4	リスニング Part 2 単語とフレーズ	4	リーディング Part 7
	5	リスニング Part 3 リーディング Part 5	5	リスニング Part 4
	6	リスニング Part 4 リーディング Part 7 シングルパッセージ	6	リスニング Part 2、スクリプト音読
	7	リスニング Part 2 リーディング Part 7 ダブルパッセージ	7	リスニング Part 2、スクリプト音読
	8	リスニング Part 3 リーディング Part 7 トリプルパッセージ	8	リスニング Part 4
	9	TOEIC 模試&答え合わせ	9	TOEIC 模試&答え合わせ
	10	文法の復習	10	2年の復習☆リスニング
	11	文法の復習、単語、フレーズ	11	2年の復習☆文法
	12	単語、フレーズの復習	12	2年の復習☆長文
	13	前期の復習	13	2年の復習☆単語とフレーズ
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	Airline English I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：Native teacher			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：		
授業概要	To develop students' English language skills for airline-related situations, and build confidence in communicating in English with native speakers.			
到達目標	Students will learn, memorize and practice relevant conversations for working in the airline industry.			
検定資格	なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	Original text			
授業計画	1 Check-in conversation		1 Inflight instructions	
	2 Gathering and checking information		2 Inflight amenities	
	3 Checking baggage/numbers/ contents check		3 Inflight meal and drink service	
	4 Airport areas		4 Inflight shopping and currency	
	5 Seating/ preflight instructions		5 Directing passengers inflight	
	6 Itineraries		6 Inflight problems	
	7 Checking baggage		7 Recommending and explaining popular places	
	8 Security check conversation; Prohibited items		8 Explaining transportation	
	9 Security check conversation; Security checks		9 Explaining location	
	10 Duty free conversation and landing documents		10 Making recommendations	
	11 Duty free conversation; payment / inflight shop		11 Talking about Japan	
	12 Boarding gate English		12 Shopping and souvenirs	
	13 Announcements and instructions		13 Explaining Japanese etiquette	
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	手話講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科・観光科・鉄道科		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：飯塚佳代・藤田敦子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容:手話講師・手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話やその他のコミュニケーション手段（指文字、読唇、筆談、表情、ジェスチャー、音声など）を体験し学ぶ。手話技能検定6級5級4級の単語を学ぶ。また、聴覚障がいのお客様に対して自信を持ってコミュニケーションがとれるように聴覚障がいの基礎知識（医学的、社会的、心理的、文化的な側面）を学ぶ。			
到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 聴覚障がい者の多様性と手話について理解をする 2. 聴覚障がい者を取り巻く環境および問題点について理解をする 3. 手話やそれ以外の様々なコミュニケーション方法があることを知り体験する。 4. 手話や多様なコミュニケーション方法を用いて簡単な会話ができるようになる。 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定5級			
教科書教材	手話技能検定公式テキスト5・6・7級（日本能率協会マネジメントセンター） 手話技能検定公式テキスト3・4級（日本能率協会マネジメントセンター）			
授業計画	1 手話とは①・指文字とは・聴覚障害者とは① 6級単語：あいさつ・自己紹介・反応・指文字	1 聴覚障害者と法律 5級単語：基本動詞②・文字総合復習・会話練習		
	2 手話とは②・手話の種類・聴覚障害者とは② 6級単語：学校名・天候・疑問・指文字	2 ろう文化とは 5級単語：基本動詞③・文字総合復習・会話練習		
	3 手話とは③ 6級単語：数字・曜日・時制・指文字	3 耳の構造と補聴器 5級単語：形容詞①・文字総合復習・会話練習		
	4 手話とは④・手話と聴覚障害の種類・人数 6級単語：人・家族・指文字・会話練習	4 聴力レベルと障害者手帳 5級単語：形容詞②・5級模試		
	5 接客手話とは・接客用語の手話 6級単語：色・方角・指文字・会話練習	5 電話リレーサービス 4級単語：都道府県①・指文字総合復習・会話練習		
	6 世界の手話・国際手話・デフリンピック 6級単語：感情・動作・指文字・会話練習	6 音声認識アプリ 4級単語：都道府県②・指文字総合復習・会話練習		
	7 多様なコミュニケーション① 6級総合復習・6級模試（指文字なし）	7 盲ろう者とコミュニケーション方法 4級単語：都道府県③・指文字総合復習・会話練習		
	8 多様なコミュニケーション② 5級単語：疑問と時間・指文字・会話練習	8 マークいろいろ 4級単語：人間・指文字総合復習・会話練習		
	9 多様なコミュニケーション③ 5級単語：自然・指文字・会話練習	9 聴覚障害者トピック 4級単語：食べ物・指文字総合復習・会話練習		
	10 多様なコミュニケーション④ 5級単語：家族・趣味・指文字・会話練習	10 聴覚障害者トピック 4級単語：動物・指文字総合復習・会話練習		
	11 多様なコミュニケーション⑤ 5級単語：程度・文字総合復習・会話練習	11 聴覚障害者トピック 4級単語：生活・指文字総合復習・会話練習		
	12 試験説明と復習 5級単語：基本動詞①・6級模試（指文字部分）	12 ゲストを迎える準備・スポーツ・趣味・質問練習		
	13 6級模試返却と解説・文字総合復習・会話練習	13 ゲストティーチャーとの交流・手話を使ってみる		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 65%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・サービス論Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：ANAの客室乗務員としての実務経験あり		
授業概要	航空業界での安全管理体制について講義で学ぶ。 外部講師による講話等を通し、オペレーション業務が直面するリスクを学びマネジメントを理解する。			
到達目標	① 航空業界でのリスクマネジメントと危機管理の違いを理解する。 ② 航空業界における安全管理体制を学ぶ。 ③ 外部講師による実務経験に基づいた講義を受け、過去事例を題材に対策を考える。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	プリント配布			
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）			
	2 リスクマネジメントと危機管理について			
	3 航空業界における安全管理体制について①			
	4 航空業界における安全管理体制について②			
	5 ヒヤリハットについて			
	6 前半の振り返り			
	7 外部講師講話 客室乗務員			
	8 事故ミス/ヒヤリハット事例 客室乗務員			
	9 外部講師講話 グランドスタッフ			
	10 事故ミス/ヒヤリハット事例 グランドスタッフ			
	11 外部講師講話 グランドハンドリング			
	12 事故ミス/ヒヤリハット事例 グランドハンドリング			
	13 全体のまとめと後期に向けて			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験90%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価試験80%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価試験60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	ワールドデスティネーションズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数 前期：26時間
担当	講師名：担当講師			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：旅行業界にて旅程管理実務経験あり。		
授業概要	日本からの渡航者が多い世界の国と地域の観光資源および、それに関わる地勢、国情勢、宗教、歴史などについて、基礎を学ぶ。授業内で、理解度を測るテストを実施する。 履修内容、順番は、変更される場合がある。			
到達目標	世界のエリア、主要な国や地域、都市を地図上で把握できる。 渡航先の基本情報が理解できる。 渡航先の魅力について理解および考察ができる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし	<input type="checkbox"/> 必修	<input type="checkbox"/> 任意	名称：
教科書 教材	海外観光プラクティカル（JTB 総研） ※1年次に購入済 旅に出たくなる地図 世界（帝国書院） ※1年次に購入済 適宜プリント使用			
授業計画	1 東南アジア（タイ、シンガポール）			
	2 南アジア（インド、ネパール）			
	3 中東（トルコ）			
	4 欧州1（英国、フランス）			
	5 欧州2（イベリア半島の国々）			
	6 欧州3（ドイツ語圏の国々）			
	7 欧州4（イタリア、その他）			
	8 北米1（アメリカ合衆国）			
	9 北米2/ 中南米の国々			
	10 大洋州1（ハワイ）			
	11 大洋州2（オーストラリア、その他）			
	12 予備日			
	13 予備日			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく。			
成績評価 基準	A：評価試験80%以上、および出席率80%以上、および平常点 優。 B：評価試験60%以上、または出席率70%以上、または平常点 良 C：評価試験40%以上、または出席率60%以上、または平常点 可 D：評価試験40%未満、または出席率60%未満、または平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	English Supplement		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：Native Teacher			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>	実務経験内容：		
授業概要	These classes will supplement the students' other English classes. In the run-up to the TOEIC test, the students will be divided into two levels for TOEIC practice. After the June TOEIC test, the students will be taught different countries' pronunciation and culture, and will also practice explaining about Japanese culture.			
到達目標	Classes will be taught by native teachers, so the students' English communication skills will improve and their knowledge and awareness will increase. It will also boost their TOEIC scores, particularly in the listening section.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	2 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	3 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	4 TOEIC Practice / Cultural exchange			
	5 TOEIC Practice/ Cultural exchange			
	6 TOEIC Practice			
	7 TOEIC Practice			
	8 TOEIC Practice			
	9 TOEIC Practice			
	10 Listening and pronunciation			
	11 Listening and pronunciation			
	12 Listening and pronunciation			
	13 Listening and pronunciation			
成績評価 方法	出席状況・評価試験・授業参加意欲を総合的に評価する			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 A B：評価試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 B C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 C D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 D			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エクササイズⅢ		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：上村海音			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：一般社団法人ダンス振興連盟 JDAC 認定ダンス指導員		
授業概要	エクササイズを通して、安全で効果的なトレーニング方法を学び、全身の筋力、柔軟性、持久力を高め総合的な体力向上を目指す授業。			
到達目標	シアターゲーム等を通して身体を動かすことに親しみを持ち、運動意欲を高める。自分自身の身体の特徴を理解し、それに合った適正なケア方法を身に着ける。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	1 柔軟性、筋力の計測			
	2 ウォーミングアップ、ストレッチ、クールダウンの習得			
	3 エクササイズトレーニング①			
	4 エクササイズトレーニング②			
	5 小テスト			
	6 エクササイズトレーニング③			
	7 エクササイズトレーニング④			
	8 エクササイズトレーニング⑤			
	9 小テスト			
	10 エクササイズトレーニング⑥			
	11 エクササイズトレーニング⑦			
	12 エクササイズトレーニング⑧			
	13 小テスト			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく ※平常点の評価には、授業参加態度も含まれます。			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	社会人準備講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：石神 直人、宮崎 愛子 他			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり		
授業概要	グローバル化や日本社会の変化に伴う人々の意識や価値観の変化も関係している中で、本講座では、時事問題解説ではなく、様々な分野をについて教養を深める講座を目指します。内容は経済、地域社会などと多岐にわたりますが、いずれも今後の社会人生活や世界を視野に入れるうえで重要な視点となります。			
到達目標	卒業後の社会人生活における問題点などがあつた場合、自主的に解決もしくは相談できるような知識を持ち、より良いキャリアデザインを描けるようになってほしい。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし (適宜、プリントもしくはPDF データ等を用意します)			
授業計画	1 マネーリテラシー（社会人の収入と支出）			
	2 マネーリテラシー（社会保険）			
	3 マネーリテラシー（経済と金融 基礎①）			
	4 マネーリテラシー（経済と金融 基礎②）			
	5 アンガーマネジメント（基礎／自己理解）			
	6 アンガーマネジメント（他者理解／クレーム）			
	7 メンタルヘルス（ストレスと心と体）			
	8 メンタルヘルス（多角的に感情を整理する）			
	9 メンタルヘルス（三大幸福物質とコーピング）			
	10 社会人基礎①（新入社員について）			
	11 社会人基礎②（トラブル対応）			
	12 マネーリテラシー（経済と金融 基礎③）			
	13 社会人の休み・余暇の過ごし方			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	グループディスカッション		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：松本 多英美			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：エアライン業界にてグラウンドスタッフとして6年間の実務経験あり		
授業概要	決められたテーマにおいて、また限られた時間内に具体的なテーマを探し、目標に向かってディスカッションをし、まとめ、発表をする。この流れをグループで行うトレーニングです。多様な意見を尊重しつつ、建設的な議論を通じて結論を導き出すスキルを習得します。			
到達目標	様々なテーマのグループディスカッションを経験することで議論の仕方を学びます。チームで考え結果を導く能力が身につきます。テーマは専門分野の業界と社会性のあるテーマを設定することで、航空分野のみならず社会性も身に付きま			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	プリント配布			
授業計画	1 グループディスカッションの定義と目的、ルールと進め方			
	2 文章の分析と要約 （航空系企業関連記事）ペアワーク			
	3 実践演習：DVD① （ホスピタリティ）			
	4 実践演習：DVD① （ホスピタリティ）			
	5 実践演習：DVD② （仕事観・キャリア）			
	6 実践演習：DVD② （仕事観・キャリア）			
	7 実践演習③ （ニュース題材）			
	8 実践演習③ （ニュース題材）			
	9 実践演習④ （機内販売）			
	10 実践演習④ （機内販売）			
	11 実践演習⑤ （機内販売）			
	12 実践演習⑤ （機内販売）			
	13 まとめと振り返り			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

25年度シラバス（授業計画）

科目名	危険物取扱講座		科目区分	専門科目
対象	エアライン科キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	講師名：逢坂 理恵			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：航空貨物取扱企業にて輸出入業務や教育担当の実務経験あり。危険物インストラクターの社内資格や Diploma 資格を保有。		
授業概要	航空機に搭載する手荷物や航空貨物には危険物があり、様々な規則が定められています。危険物は取り扱いを間違えると大事故に繋がってしまうため、航空業界で働くために身に付けておくべき知識の一つです。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・危険物の分類や危険性、ラベルを理解する ・旅客手荷物に含まれる危険物を理解する ・航空機の搭載規則を理解する ・航空安全に対する意識を醸成する ・危険物リストの見方、マーキング・ラベリングの規則を理解する 			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	講師作成教材			
授業計画	1 身の周りの危険物、教育の目的、規則体系とその他の輸送形態			
	2 IATA 規則第1-2章 危険物輸送の流れと規則の責任範囲、認可と適用免除			
	3 IATA 第2章 隠れた危険物、微量・少量、IATA 第3章 分類(第1分類～3分類)			
	4 IATA 第3章 分類(第4分類～9分類)			
	5 IATA 第4章 危険物リストの見方			
	6 IATA 第5-6章 包装基準、容器の種類と輸送形状、国連規格容器			
	7 IATA 第7章 ラベル・マーキング			
	8 IATA 第8章 書類の作成(危険物申告書、AWB)			
	9 IATA 第9章 ハンドリング(受託・保管・搭載)			
	10 IATA 第9章 旅客手荷物、機長への通知			
	11 まとめ、応用問題			
	12 試験対策問題			
	13 試験返却、フィードバック			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 85%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	空港旅客サービス実務			科目区分	専門科目
対象	エアライン科 エアポートコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：26時間
担当	講師名：松本 多英美				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり			
授業概要	1年次に学習した内容をベースにし、さらに実践的な空港業務の内容を学習します。特別なお客様の対応やイレギュラー時の対応など、通常時以外の対応についても学びます。				
到達目標	空港における様々な業務の知識をさらに広げ、目の前のお客様にどう対応するのか、具体的に実際の現場を想定し、自ら考え行動に移せる力を身に付けます。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：				
教科書 教材	プリント配布				
授業計画	1 専門用語と略語、表記の仕方				
	2 マイレージサービス				
	3 アライアンスとその特色				
	4 出入国に必要な書類について				
	5 ビザ免除国について				
	6 制限旅客と特殊旅客について				
	7 特別なお客様のチェックインと座席の特性				
	8 障がいをお持ちのお客様への理解と対応方法について①				
	9 障がいをお持ちのお客様への理解と対応方法について②				
	10 システムダウン時のマニュアル対応について①				
	11 システムダウン時のマニュアル対応について②				
	12 グループワーク：航空会社のサービス				
	13 グループワーク：航空会社の挑戦				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 50%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 50%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

26年度シラバス（授業計画）

科目名	卒業制作		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数 前期：26時間
担当	講師名：松本 多英美			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	実務経験内容：エアライン業界にてグランドスタッフとして6年間の実務経験あり		
授業概要	卒業までの1年間で、今まで学んできた多くのことを生かしながら自分の考えた内容を発表するために調査・研究を行い、レポートにまとめます。内容は各自で考えて行うため、自身の興味のあることや関心をもって主体的に行う授業となります。			
到達目標	社会人として卒業する前の心構え、対応を行い、自身の主張を論理立てて説明することが出来る。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：			
教科書 教材	なし（適宜、資料を用意します）			
授業計画	1 卒業制作概要説明、テーマ決めの調査			
	2 テーマ決めの調査・決定			
	3 調査開始①			
	4 調査開始②			
	5 調査開始③			
	6 題材確認及び中間発表準備			
	7 中間発表①			
	8 中間発表②			
	9 追加調査及び追加研究①			
	10 追加調査及び追加研究②			
	11 追加調査及び追加研究③			
	12 最終発表①			
	13 最終発表②			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価課題及び授業理解度80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B：評価課題及び授業理解度60%以上、出席率80%以上、平常点 良 C：評価課題及び授業理解度40%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価課題及び授業理解度40%未満、出席率60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	エアライン・ビジネス論II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	講師名：ANA 総合研究所			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	実務経験内容：ANAの客室乗務員としての実務経験あり		
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・航空産業の企業活動を参考に社会人として企業の事業運営に貢献する重要性を学ぶ。 ・過去の事例を基に演習にて実際の対応方法を学ぶ。 			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ① 公共交通機関としての航空会社の社会的使命を理解する。 ② 過去事例で行われた対策を学び、対応策を考える力を身につける。 			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	プリント配布			
授業計画	1 オリエンテーション（受講に対する心構え）及び前期の振り返り			
	2 企業統治（コーポレートガバナンス）について			
	3 コンプライアンスについて			
	4 情報セキュリティ			
	5 事例/ヒヤリハット 具体事例共有			
	6 事例/ヒヤリハット1対策考案			
	7 事例/ヒヤリハット1対策考案			
	8 事例/ヒヤリハット1対策の発表 及び前半の振り返り			
	9 事例/ヒヤリハット2対策考案			
	10 事例/ヒヤリハット2対策考案			
	11 事例/ヒヤリハット2対策考案			
	12 事例/ヒヤリハット2対策の発表			
	13 全体の振り返り			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 90%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	電話応対		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース/エアポートコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	講師名：岸田輝美			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：電話応対・社内マナー講師実務経験。現在は研修会社取締役		
授業概要	あらゆるビジネスシーンに必要な「電話応対」には、正しい日本語の使い方・基本的なビジネスマナー・様々な状況に臨機応変に対応することができるコミュニケーション能力が求められます。本授業では、1年で学んだことを活かしながら実践ですぐに役に立つ、優れた電話応対術を学びます。			
到達目標	実践ですぐに役に立つ電話応対を学ぶ。発声・発音、電話の受け方・かけ方、定型的な言い回し、伝言メモの書き方等電話応対の基礎を固める。訓練用模擬電話機「てるコーチX」でトレーニングをして即戦力を目指す。			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：電話応対技能検定4級			
教科書 教材	ビジネスマナーテキストブック（ビューティフルマナー株式会社出版） 前向きな言葉の作り方実践ワークブック（一般社団法人日本ペップトーク普及協会）			
授業計画	1 前向きな言葉を意識する・状況を受け止め表現する			
	2 状況の捉え方を変え表現する・可能なことを提案する			
	3 相手との信頼関係を築く・自分の一言目を変える			
	4 【実践電話応対】 取次 台本作り			
	5 【実践電話応対】 取次 実技			
	6 【実践電話応対】 道案内 台本作り			
	7 【実践電話応対】 道案内 実技			
	8 【実践電話応対】 問い合わせに対応 台本作り			
	9 【実践電話応対】 問い合わせに対応 実技			
	10 【実践電話応対】 感謝をイメージする 台本作り			
	11 【実践電話応対】 感謝をイメージする 台本作り			
	12 【実践電話応対】 感謝をイメージする 実技			
	13 【実践電話応対】 感謝をイメージする 実技			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	A：評価試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：評価試験 70%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	企業実習/ボランティア		科目区分	専門科目
対象	エアライン科 キャビンアテンダントコース・エアポートコース		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期：4単位	時間数
担当	講師名：企業担当者/ボランティア団体 担当者			
	実務経験：(有)・無	各企業現場指導者より		
授業概要	<p>【企業実習】 航空業界企業に出向き、業務を実際の体験を通して理解する。精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。</p> <p>【ボランティア】 ボランティア活動を通じて、他者に尽くすことで得られる幸福感や喜びを実感し、心の豊かさを育む。 (感謝の気持ちの大切さ・共感と思いやりの醸成・自己肯定感の向上)</p>			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・実践業務を学び、知識・技術の向上 ・他者との良好な人間関係を築くためのコミュニケーション能力とマナーの習得 ・ボランティアを通じて社会情勢を理解すると共に、おもてなしや思いやりの精神を育む 			
検定資格	なし ・ 必修 ・ 任意 名称：			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>〈企業実習〉 各企業の館内及び施設見学、航空業界全般並びに各企業ルールと共に接客時のマナーを学ぶ。</p> <p>【キャビンアテンダント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・機内サービス/アナウンス ・接客マナー <p>【グランドスタッフ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チェックイン業務 ・接客マナー <p>【グランドハンドリング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カーゴハンドリング業務 ・危険物取扱業務 			
	<p>〈ボランティア〉 学校に募集がかかったボランティア活動、若しくは千葉市のボランティアネットワークを活用し、自身が参加したいボランティア活動へ参加。</p> <p>【ボランティア内容】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域貢献 ・ビーチクリーン ・デイサービス ・文化活動 他 			
成績評価 方法	実習報告手帳に基づく			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】</p> <p>R：実習修了時間 120時間以上</p> <p>D：実習修了時間 120時間未満</p>			

2026年度シラバス（授業計画）

科目名	韓国語 I・II		科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科・鉄道科 選択		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名： 渡部 茂			
	実務経験： 有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：		
授業概要	韓国語の会話のみならず、この言語を使用している民族の文化面的な背景も学ぶ。			
到達目標	一年間を通して日常の韓国語の場面話術や、各業界の専門的な業務会話の習得までを到達目標とする。			
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称： ハングル検定・韓国語能力検定			
教科書教材	「例文をなぞって覚える場面別会話集」 渡部 茂 著			
授業計画	1.韓国語とはとハングル創製の時代背景まで	1.基本的な会話（初対面の挨拶等）		
	2.文字と発音のルール（連音化・有声音化等）	2.日常会話（I THBで何を学んでいますか等）		
	3.音の変化（流音化・鼻音化・口蓋音化等）	3.旅行・観光（機内・列車内・バス内での案内等）		
	4.数詞 助数詞 漢数詞と固有数詞（1と一）	4.飲食時の会話（客と従業員の間の会話等）		
	5.指示代名詞と疑問詞	5.ホテル内での会話（予約と応対等）		
	6.助詞（一音節・二音節・三音節・四音節等）	6.交通と乗り物（I THBまで行って下さい等）		
	7.用言の活用（です・ます）	7.テーマパーク（入場客のご案内や引率等）		
	8.文中の連体形と連用形	8.ショッピング会話（日常や旅先の注文と応対等）		
	9.待遇表現（丁寧語・謙譲語・尊敬語等）	9.感情表現（日韓形容詞の相違の比較対照）		
	10.依存名詞の役割（こと・もの・はず・わけ等）	10.看病・介護・病気等の表現		
	11.日本語漢字音と韓国漢字音の対比	11.人生の一生の出来事表現		
	12.擬態語・擬声語（オノマトペ） 接頭辞・接尾辞	12.スマホ・パソコン等の電子機器等の表現		
	13.朝鮮半島文化的背景（親族の呼称・歴史年表）	13.芸能・音楽（前売り券・ファンミーティング等）		
成績評価方法	下記評価基準に基づく			
成績評価基準	A： 評価試験 80%以上、 出席率 80%以上、 平常点 優 B： 評価試験 70%以上、 出席率 70%以上、 平常点 良 C： 評価試験 60%以上、 出席率 60%以上、 平常点 可 D： 評価試験 60%未満、 出席率 60%未満、 平常点 不可			

26年度シラバス（授業計画）

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	エアライン科・テーマパーク科・観光科・鉄道科			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：26時間 後期：26時間
担当	講師名：張翼飛				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無	実務経験内容：			
授業概要	前期は中国語の基本発音、文法及び中国文化を習得します、後期は基本会話の練習とエアライン、テーマパークおよび観光の現場に使う中国語を学び、即戦力となる人材を育成します。				
到達目標	基本的な中国語会話を身につけ、来日中国人のお客様に基本的な対応ができるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称：				
教科書教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	1 中国語の母音と子音の練習。	1 形容詞述語文を学習。			
	2 中国の地図、近代歴史と民族の紹介。	2 文の組み立て方の練習。			
	3 中国語四声の練習。	3 テーマパーク入場、案内で使用する会話。			
	4 中国年間行事の紹介。	4 エアラインカウンター手続きで使用する会話。			
	5 出会いと別れ、お礼とお詫びの言葉の練習。	5 観光地のバス移動で使用する会話。			
	6 中国人恋愛観と結婚観の紹介。	6 テーマパーク土産店で使用する会話。			
	7 中国語数字の言い方。	7 空港の保安検査と出国審査で使用する会話。			
	8 中国四大料理と食事マナーの紹介。	8 観光地案内で使用する会話。			
	9 動詞述語文を学習。	9 テーマパーク内レストラン利用時の会話。			
	10 中国人に送ってはいけないものの紹介。	10 エアライン搭乗案内で使用する会話。			
	11 名詞述語文を学習。	11 観光地食事マナー、ゴミ回収で使用する会話。			
	12 中国映画鑑賞。	12 テーマパーク内ホテルで使用する中国語会話。			
	13 前期期末試験問題対策。	13 後期期末試験問題対策。			
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：評価試験90%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：評価試験70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C：評価試験50%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：評価試験50%未満、出席率60%未満、平常点 不可				